

# 働き方改革、政府は裁量労働制を断念!



裁量労働制の対象拡大について、関連する調査データに様々な不備が見つかり、安倍首相は、いまの国会に提出予定の働き方改革法案から裁量労働制の部分を削除し切り離すと表明しました。でたらめなデータの上に、労働者を歯止め無く働かせ続ける可能性のある裁量労働制の導入は、当然認められるものではありません。裁量労働制では、実際の労働時間に関係なくあらかじめ定めた時間を働いたとみなし、その時間分の残業代しか出ません。それだけでなく働かせすぎ、過労死も絶えない日本の風土に、規制を緩めて企業が残業代の支払い義務を免れると、歯止めがなくなって長時間労働が横行するのではないのでしょうか。

一方、政府は、裁量労働制以上に規制を緩め、働く人を労働時間規制から外す高度プロフェッショナル制度は創設するとしています。高プロは、専門職で高年収の人を規制の外に置き、働く時間は労働者の自由裁量となります。しかし、深夜・休日の割増賃金もなく、裁量労働以上に長時間労働につながる懸念は大きなものがあります。ひとたび導入されると、今は限定された年収、職種が対象であったものが、徐々に拡大されていくのが、過去の労働法制を取り巻く歴史でした。

一連の規制緩和策は、安倍政権が成長戦略の一環として方針を決め、厚生労働省の審議会が事実上追認してきたもので、審議会では労働側の反対意見を押し切って結論が出され、議論が尽くされたとは言い難いものです。また、これらの法案は、3年前に国会に提出されましたが、反対が強く法案は全く審議されないまま廃案となりました。それを、残業規制などと抱き合わせで実現しようとするやり方は姑息と言わねばなりません。

議論の舞台は参議院にも移ってきました。今後も、政府の姿勢を追求し、真の働き方改革が実現するよう全力で取り組んでいきます。斎藤議員は、民進党の他の議員、希望の党の議員らと協同して、働き方改革関連法案に対して、対案を出すべく準備を進めています。

また、今回の働き方改革では、対象にならなかった運輸関連の皆さんや公務員、教員などの方にも働き方改革の趣旨が及ぶよう、政府に働きかけています。

## 予算案はいよいよ参議院へ



政府平成30年度予算の審議は、3月1日よい、いよいよ審議の場所が参議院に移ってきました。衆議院の質疑では、働き方改革虚偽データや、森友・加計疑惑の新たな資料など様々な問題点が明らかにされました。

予算案自体が、「人づくり革命」「生産性革命」とうたっている割には、「人への投資」が小粒で、実効性が疑われるものです。保育の受け皿拡大にせよ、保育士の処遇改善にせよ、給付型奨学金の拡充にせよ、現実的な問題に対処できる規模ではなく、「とりあえずやったこと」にするためのアリバイ作りのような予算案だといえます。

生産性革命についても、地域の中核企業による設備投資の促進(162億円)や事業継承支援のための措置の拡充(21億円)というのでは、あまりにも規模が小さすぎると言わざるを得ません。何よりも、実質賃金の低下や振るわない消費、進まぬデフレ脱却など、アベノミクスの失敗の数々が国民生活を蝕んでいる現状を認め、人への投資と地域活性化を経済政策の柱においた政策の転換を図っていくべきだと思われまます。

今後も、参議院予算委員会、各委員会での審議を通じて、予算案の最適化を図っていきます。

## 斎藤嘉隆プロフィール



- 1963年(昭和38年)2月生まれ  
みずがめ座 A型
- 名古屋市立万場小学校・はとり中学校  
菊里高校卒業
- 愛知教育大学卒業
- 名古屋市立村雲小・稲永小・新明小に勤務
- 名古屋市教育委員会指導主事
- 愛知県教員組合執行委員長
- 連合愛知副会長

- 2010年参議院選挙愛知県選挙区で初当選
- 2016年(平成29年)575,119票をいただき二期目の当選
- 党政調副会長、党税調事務局次長、男女共同参画推進本部事務局長、県連選対委員長、スポーツ議連事務局長などを歴任
- 現在の役職  
参議院経済産業委員会 委員長  
消費者問題に関する特別委員会 委員

# 経済産業委員長就任パーティー開催

3月25日、齋藤嘉隆議員の経済産業委員会委員長を祝うパーティーが名古屋市内で開かれました。会には大村知事を始め、各界から多数の来賓にもご参加いただき盛大なものとなりました。齋藤委員長は、モノづくり産業の企業を多くかかえる愛知の産業をさらに強く発展させるべく力を尽くしていくことを述べました。

経済産業委員会は、この国会では、「生産性向上特別措置法案」及び「産業競争力強化法等の一部を改正する法律案」という中小企業の生産性向上のための設備投資の促進、再編等による事業承継加速化、経営基盤強化のための支援能力確保を目的とした法案などが議論される予定であり、齋藤委員長はこれらの議論が円滑かつ公正に行われるよう細心の注意を払って取り組む決意です。



## 平昌オリンピックへ視察へ。

齋藤議員は、超党派のスポーツ推進議員連盟の役員として、党から派遣され、2月9日から11日までの4日間、平昌オリンピックを視察してきました。

開会式においては、朝鮮半島統一旗のもとでの合同行進がハイライトとなっていましたが、五輪の場を政治の場にすることで、韓国国内にも賛否があり、会場前では賛否両団体の抗議行動が見られました。スポーツを利用した平和の演出、国際政治の駆け引きの影響をスポーツ競技に及ぼすことについては課題が残ると思われま

す。開会式はそれほどではなかったものの、平昌の山側の寒さは尋常ではなく、川が凍りついて、競技進行にも支障をきたすほどでした。ボランティアの皆さんも体調を崩す方が多く、数も少なかったようです。逆に2020東京大会の暑さ対策は、クール避難所設置、ドクターや看護師配置、ミスと設置などやりすぎてもやり過ぎることはないと思われま

す。また、超党派のスポーツ議連で推進した現地ハイパフォーマンスサポートセンターでは、日本食の提供、温浴や冷水浴の提供、トレーニング場の提供、メディカル支援、マッサージやリラクゼーションサービス支援などが行われていた。特に、日本食の提供が大好評であり、日本と同じ生活練習環境が提供されることで、選手のパフォーマンス向上に大いに役立っていました。



## イベント情報

参議院議員 齋藤嘉隆君と日本の明日を創る会

**日時** 2018年7月27日(金) 17:00~(16:30受付開始) **会場** 名古屋観光ホテル 3階 那古の間 **会費** 20,000円

お申し込みは 齋藤嘉隆事務所まで  
TEL: 052-439-0550 FAX: 052-439-0560



※諸般の事情により変更になる場合がございます。

### 齋藤嘉隆事務所のご案内

〒454-0976 名古屋市中川区服部3-507

TEL (052)439-0550 HPアドレス: [saitoyoshitaka.com](http://saitoyoshitaka.com)

FAX (052)439-0560 E-mail: [saito@saitoyoshitaka.com](mailto:saito@saitoyoshitaka.com)



通常号 定価1部100円(消費税込み) 年間講読料 3,000円(送料含む)

Minshin Press

民進

### 号外

(齋藤嘉隆特集号)

民進党 民進プレス編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話 03-3595-9988(代表)

メール [press@minshin.or.jp](mailto:press@minshin.or.jp)

URL <https://www.minshin.or.jp/>